令和７年度 武蔵村山市立第八小学校 学校経営方針

学校名　武蔵村山市立第八小学校　　校長名　　井口　洋

教育目標

人権尊重の基盤に立ち，創意に満ちた教育活動の推進に総力をあげ，人間性豊かで思いやりがあり，２１世紀を逞しく生き抜く国際感覚豊かな子供を育てる。

◎考える子　　きたえよう頭を
○思いやりのある子　　みがこう心を
○やりとげる子　　つよくしよう心と体を
○礼を重んずる子　　あらわそう思いを
行動目標　　わけをそえて話すことができる子

１　目指す特色ある学校像

自分大好き　友達大好き　学校大好き　八小の子　　（目指す児童像）
人間力を高め，夢と希望を育み，笑顔あふれる学校　　（目指す学校像）
苦楽を共にし、子供のために力を尽くす　チーム八小　（目指す教師像）

① 地域を愛し，地域に開かれ，地域と共に歩む学校（コミュニティ・スクール）
② 午前５時間制により，元気，根気，本気，勇気(４つの気)を育む活力のある学校
③ 礼儀やマナーを身に付け、明るい挨拶やそっと会釈のできる温かみのある学校
④ 「楽しい授業」「わかる・できる授業」「考える授業」を通し，確かな学力を育てる教育力のある学校
⑤ 子供が学校を誇りに思い，保護者・地域に愛され，信頼される学校

キーワード「ABC」(A あたりまえのことを B ばかにしないで C ちゃんとやる)

２　学校経営の目標・経営の具体策

(1) 全国学力学習状況調査(算数科)における平均正答率を、**令和８年度までに**全国平均に引き上げる。

(2) 知識・技能の確実な定着と思考力・判断力・表現力の向上のために
①「八小授業スタンダード」に則した授業を実施し、習熟タイムの有効活用を図る。
②算数科と漢字学習で期末テストを継続実施する。
③個別最適な学びを目指し、なるほど塾及び錬成塾等を行う。
④**全学年でまちづくり学習の実施をとおして、課題解決力の向上を図る。**
＊期末テスト、なるほど塾、錬成塾については、成果検証を図り、次年度への改善に生かす。

(3)教員の授業力向上のために
●校内研究では研究授業を年３回、「一人一研究」の研究授業を一人２回ずつ実施する。

(4)GIGA スクール構想を推進し、PC 端末等を授業、家庭学習、保護者連携に活用する。
① 早寝早起き・朝ご飯・歯磨き・家庭学習の励行とｽｸﾘｰﾝﾀｲﾑの制限等、家庭啓発に努める。
② １人１台端末を「日々の授業」、「家庭学習」、「保護者連携」等に効果的に活用する。

小中一貫教育に向けた方策

(5)五中・一中校区の小中学校との連携を深め９年間を見通した小中一貫教育の推進を図る。

①五中校区合同研究の研究構想図・研究主題をもとに目指す生徒像の育成に向けて追究する。
②小中各校同士の交流をさらに推進し、異校種の教員による特別授業等を試行する。
③次期学習指導要領を見据えた五中校区スタンダードの改訂を図り、より実効性を高める。